

2024 年 9 月 24 日

通貨ニュース

台湾：9 月金融政策会合～不動産価格上昇を警戒し、預金準備率引き上げを継続

台湾中央銀行(CBC)は 19 日、金融政策会合を開催し、政策金利(ディスカウントレート)を据え置き、2.00%とした(図表 1)。政策金利の据え置きは 2 会合連続での決定。また、本会合では前回 6 月会合に続き、2 会合連続で預金準備率を+25bp 引き上げること決定。なお、ブルームバーグの事前予想では現状維持が優勢だった。

声明文では世界経済について、製造業・非製造業の景況感はまちまちながら緩やかに成長を続ける一方、インフレは段階的ながら減速基調にあると総括。先行きの世界経済は、FRB が利下げを開始したことに触れつつ、米国以外にも今後の日欧や中国の金融政策動向、米国の大統領選挙などにも影響されるとした。国内経済については、前回会合に続き、AI関連産業や先端部門における世界的な半導体需要の持ち直しが台湾の輸出にとって大きな追い風となっている点に言及(図表 2)。直近の 24 年 4～6 月期の実質 GDP 成長率は前年同期比+5.1%と前四半期の同+6.6%から鈍化したものの、堅調さを保った(図表 3)。内需の鈍化や純輸出の寄与度がマイナスに転じたものの、先述の通り輸出実績は大崩れなく、設備投資をはじめ投資の伸びが下支えした格好となった。CBC は先行きの見通しについて、AI 関連の半導体に関する需要は今後も続くとの見方を維持しており、輸出が経済成長のドライバーとなるとした。下半期にかけては徐々に数字が弱くなっていく見込みだが、賃金上昇が個人消費を下支えすることも期待され、24 年の実質 GDP 成長率は前年比+3.8%を見込んでいる。

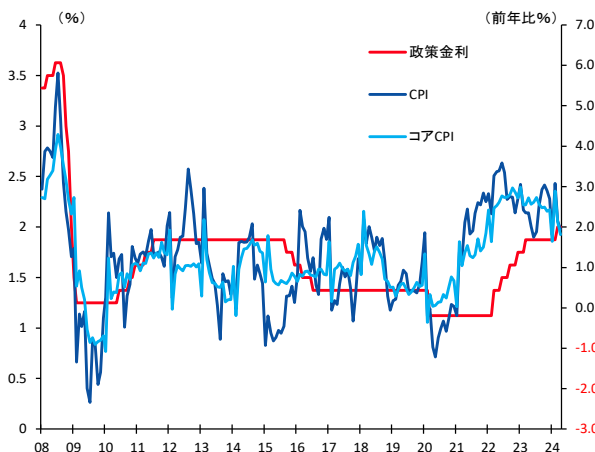
物価動向について、直近の 8 月消費者物価指数(CPI)は前年比+2.4%、エネルギー・野菜・果物を除いたコア CPI は同+1.8%と+2%近辺で推移している(図表 4)。CBC は食料品や生活必需品のインフレ継続に言及しつつ、24 年のインフレ見通しを前年比+2.16%と+0.04%ポイント引き上げたが、その引き上げ幅を見ても概ね CBC の想定通りの動きをしていると言える。一方で、住宅価格の上昇については、警戒を解いておらず、前回 6 月会合に続いて預金準備率を引き上げることで銀行融資を抑制し、住宅市況の加熱を防いでいく方針を示した。この他にも不動産投機を抑制する観点から都市部を中心に第 2 住宅の貸付比率を引き下げる方針を示している。前回会合からの比較ではインフレの大勢に変化は出ていないものの、総合インフレについては過去の水準を上回る状況が続く以上、積極的なハト派傾斜が肯定される状況とは言えない。この点も今回の政策決定の材料となったと思われる。なお、25 年のインフレ見通しは同+1.89%と+2%を下回る見込みである。

FRB の利下げ決定を受けて、今後 CBC も政策転換を検討する段階に入ると考えられるが、楊 CBC 総裁は現在の政策金利が 16 年ぶりの水準にあるも世界的に見れば高くはないと述べており、利下げについては慎重な姿勢を維持している。また声明文記載の通り、米大統領選の結果をより注視している印象があ

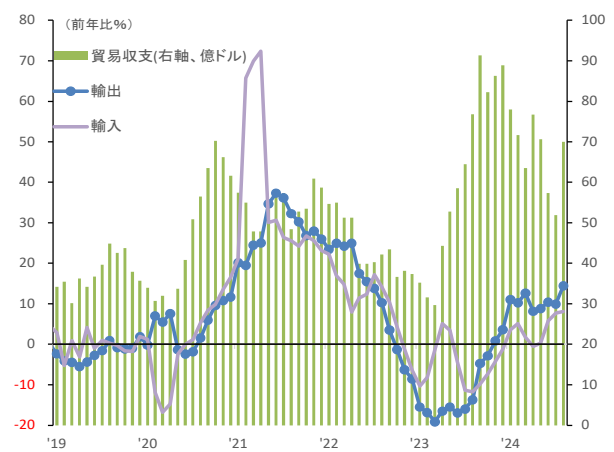
金融市場部
シニアマーケット・エコノミスト
堀 堯大
03-3242-7065
takahiro.hori@mizuho-bk.co.jp

る。民主党は台湾との関係性を維持・強化する指針を示していることから、やはりトランプ氏の再選可能性を意識したものと考えられ、12 月会合においてはより踏み込んだ発言が見られるかもしれない。

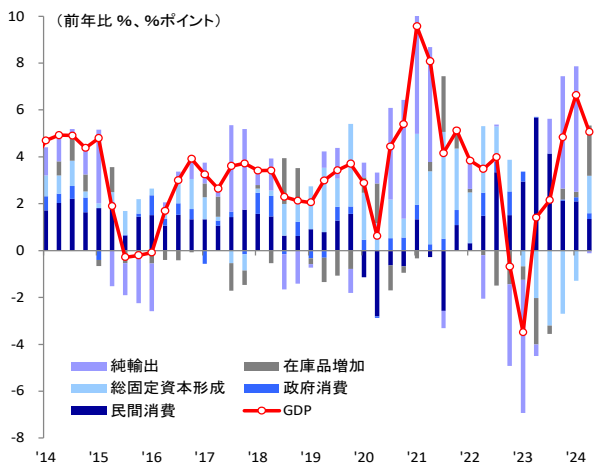
CBC 会合後の TWD の反応は限定的も、FRB の利下げが TWD を含め新興国通貨の支援材料となっている。足許にかけては、CNY の方向感に追従する中で通貨安圧力は後退しており、今後も米国の利下げが継続し、堅調な貿易黒字を計上することが出来るのであれば大崩れはないと考えている(図表 6)。一方で、先述の米大統領選を受けた台湾情勢の動向や中国経済の悪化のほか、世界の半導体市況の急激な冷え込みといった外的要因の変化には注意を払いたい。

図表 1: 政策金利とインフレ率


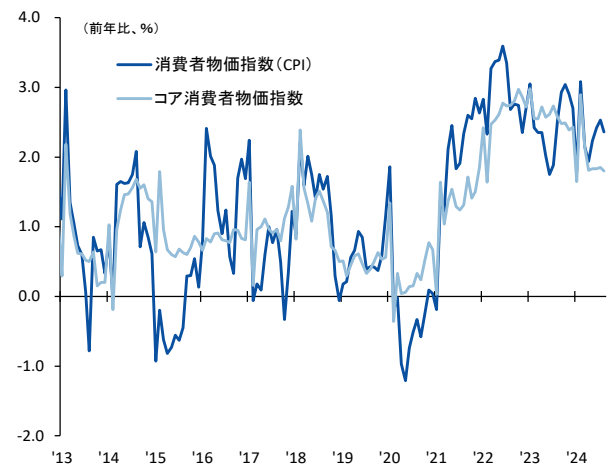
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 2: 貿易収支の動向


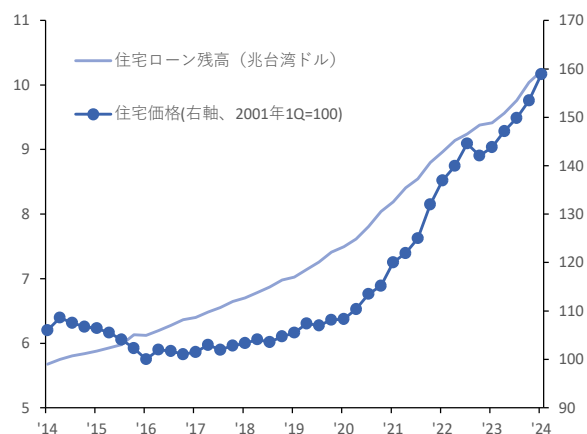
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行
※後方 3 か月移動平均を用いて算出

図表 3: 実質 GDP 成長率の推移(前年比%、%ポイント)


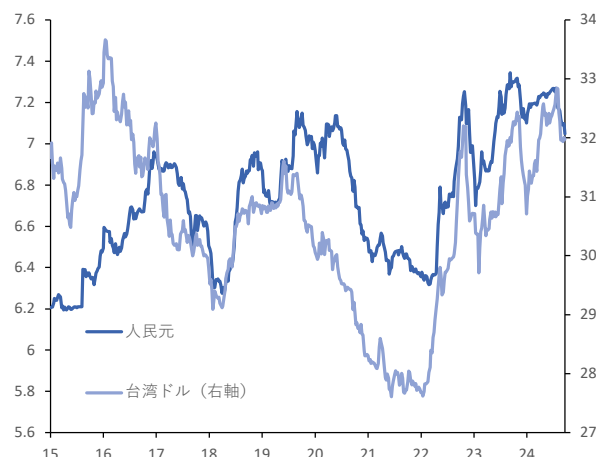
出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 消費者物価指数の推移


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 住宅価格と住宅ローン残高


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: TWD と人民元の動向 (対ドル)


出所: ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。